

## 消防協力者に対する感謝状贈呈式を実施しました

令和6年10月15日（火）、多賀城消防署において消防協力者に対し感謝状贈呈式が行われました。

9月末に多賀城市内の飲食店内において飲食中にものを詰まらせ、トイレで倒れていた男性に対し、居合わせた男性（消防協力者）が異物除去法の応急処置を実施し、異物が出てきたことにより意識が戻ったのが確認されました。的確な救命活動に対し、多賀城消防署長から感謝状を贈呈しました。

消防協力者は、塩竈市在住の塩竈市塩竈消防団（北部分団）に所属する消防団員・伊丹直文さん（73歳）で、今年の2月にも普通救命講習を受講しており、事案発生当時は奥様と食事中で、「誰か助けて！」と呼ぶ声に伊丹さんは速やかに反応しトイレに駆け付けると、倒れて意識のない男性に対し呼びかけ、伊丹さんの奥様に救急車の要請を指示。さらには傷病者の家族から情報を入力し、背部を叩いたりハイムリック法（腹部突き上げ）を何度も実施したりしたところ、約5センチ角の肉片がごろっと出てきたそうです。

伊丹さんは「なんとか助かってほしいという思いで必死でした。」と話しており、救急隊が到着時には意識が戻り、夫婦の連係プレーで一命を取り留めました。

救命活動は1分1秒の応急処置が遅れば、重症化したり、命を落としたりと迅速な対応が求められます。

今後も「住民が安全・安心を実感できるまち」の実現に向け、地域の皆様とともに救命率の向上に努めてまいります。



お問い合わせ先  
多賀城消防署  
総務係 ☎022-355-9704